

第71回 定時株主総会

2026.6.26

アアルピィ東プラ株式会社



監査報告

本日のAGENDA

監査報告 ▶ **FY2025 Review** ▶ 中期経営計画 (New Stage26) の進捗 ▶ FY2026 Budget ▶ 決議事項

Topics

進捗状況

経営目標

財務報告

予算

新たな取組み



FY2025 Review

▼ 景気下振れ要因

- 米国相互関税
- ロシア・ウクライナ戦争
- 円安基調の継続
- 中東情勢の緊迫化

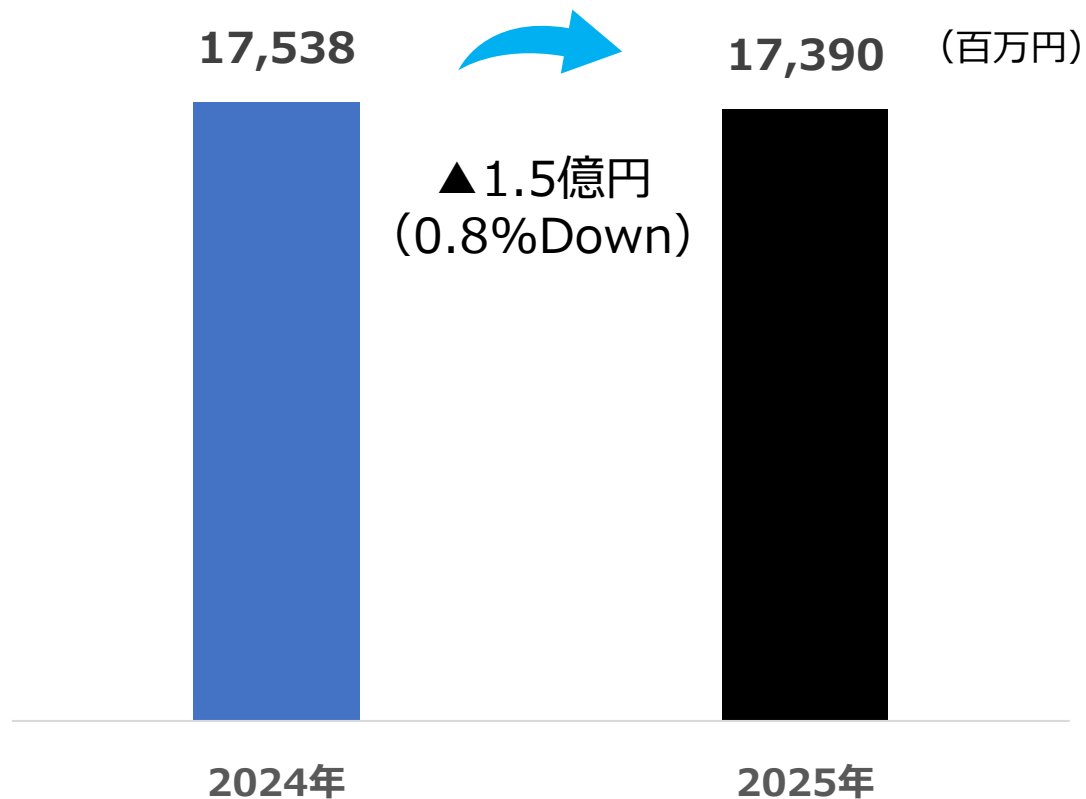
▲ 経 営 努 力

- 群馬第2工場本格稼働
- 原価低減による採算性の改善
- 環境配慮型製品の拡販

- A-PETシート製品は前年度並み
他樹脂製品の売上が減少
- 東南アジアを中心に冷蔵庫需要は
堅調



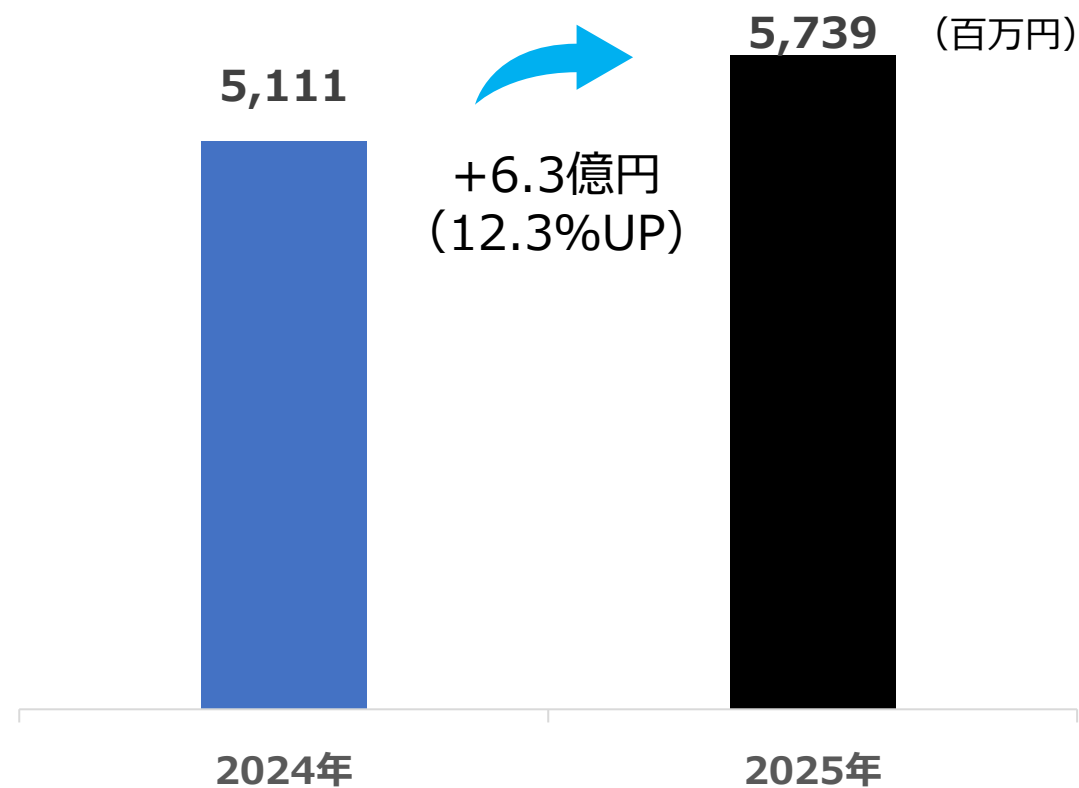
【シート事業連結売上高】



- 住宅設備分野では需要減少が続く
厳しい状況
- 自動車分野、既存品の安定受注と
前年度後半からの新型受注による
販売増



【プロダクト事業連結売上高】



● 主要ユーザーによる環境型製品の採用が収益に貢献



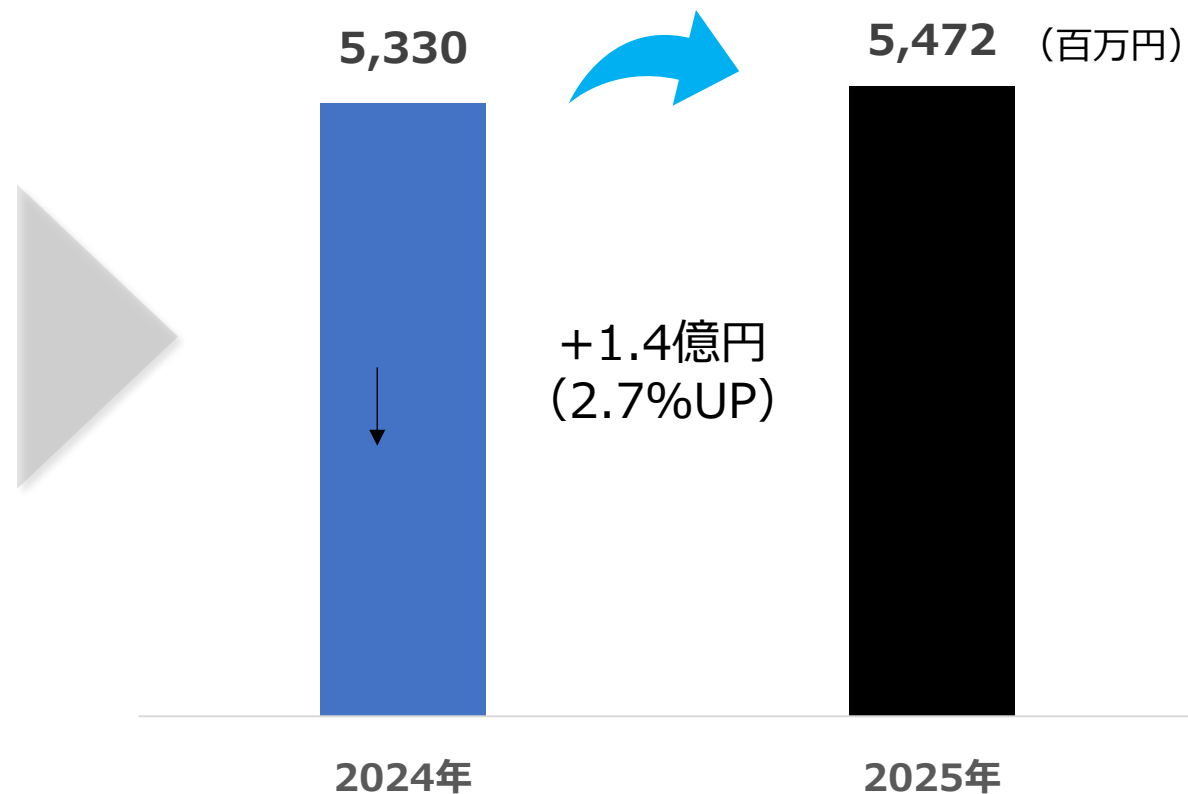
スムージー用カップ



オリジナル印刷シリーズ

● 猛暑により前年度に続き安定した出荷数量を確保

【容器事業連結売上高】



● 地域社会への貢献

紺綬褒章 受章



和歌山県御坊市、由良町への
企業版ふるさと納税に対し
(2026.3)

企業版ふるさと納税



群馬県邑楽町
(2026.3)

こども食堂へカップ寄贈



群馬県
(2026.2)

地域イベントへの協賛

野洲のおっさん びわ湖1周
ごみ拾い行脚2025

滋賀県大津市 他
(2025.5~7)

2025 おうら祭り



群馬県邑楽町
(2025.8)

すいたフェスタ 2025



大阪府吹田市
(2025.9)

● 企業認知度向上への取組

メディアへの出演・番組提供



他

B.LEAGUE

群馬クレインサンダーズと
オフィシャルブロンズパートナー
契約を締結



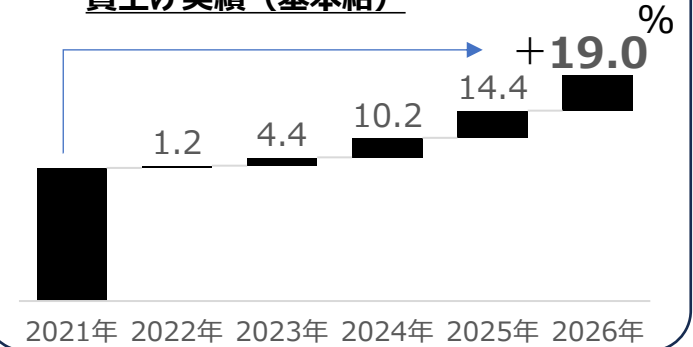
- ・地域での圧倒的な認知向上
- ・採用力アップ
- ・社員のエンゲージメント向上

* 日本の男子プロバスケットボールリーグ。2016年に発足し、現在は国内最大級のプロスポーツリーグの一つ。

●賃上げ

物価上昇で実質賃金が下がり、人材確保も難しい状況
→ 人材確保・生産性向上を通じて企業競争力を維持するための戦略的投資を継続して実施

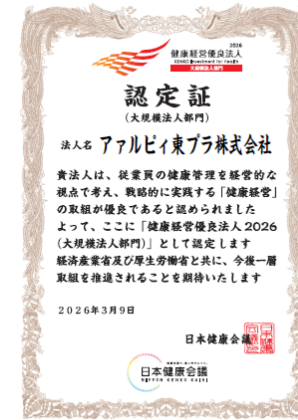
賃上げ実績（基本給）



●健康経営の推進

2026年3月、「健康経営」を推進する日本健康会議（厚労省・経産省全面支援）より、当社の取組が評価され
「**健康経営優良企業2026（大規模企業部門）**」に認定

「従業員の健康管理に優れた企業」を認定する制度
企業の健康経営の取り組みを“見える化”し、社会的評価を高めることが目的



●労働環境の改善【暑熱対策】



群馬工場

- ・機械設備からの放熱を遮断
- ・スポットクーラー増設
- ・作業着へ冷却グッズを配布 等

【衛生面】

- ・工場トイレ リニューアル（滋賀） 等

【労務制度改革】

- ・育児介護に関する労働条件の緩和
- ・育児フレックスタイム制度導入
- ・障害等に対し新たな特別休暇制度の新設 等



2025年度 連結業績

(金額単位：百万円)

	70期 2024年度	対売上比率	71期 2025年度	対売上比率	増減
売上高	27,997		28,635		+638
売上総利益	4,304	15.3%	4,947	17.2%	+643
販売費及び一般管理費	3,167		3,119		▲48
営業利益	1,136	4.0%	1,827	6.3%	+691
経常利益	1,133	4.0%	1,800	6.2%	+667
特別損益	▲25		0		+25
税金等調整前当期純利益	1,108		1,800		+692
親会社株主に帰属する当期純利益	755	2.7%	1,225	4.2%	+470

2025年度 連結貸借対照表

(金額単位：百万円)

	70期 2024年度	71期 2025度	増減		70期 2024年度	71期 2025年度	増減
【資産の部】	24,250	23,317	▲933	【負債の部】	16,981	14,930	▲2,051
流動資産	15,236	14,228	▲1,008	流動負債	11,965	10,011	▲1,954
有形固定資産	7,843	7,832	▲11	固定負債	5,015	4,918	▲97
無形固定資産 (投資・その他)	1,169	1,256	+87	【純資産の部】	7,268	8,387	+1,119
資産合計	24,250	23,317	▲933	負債・純資産合計	24,250	23,317	▲933

2025年度 連結キャッシュフロー（ご参考）

（金額単位：百万円）

	70期 2024年度	71期 2025年度	増減
【期首現金及び現金同等物残高】	2,537	3,011	
営業活動によるキャッシュフロー	1,348	2,453	+ 1,105
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,713	▲ 962	+ 751
財務活動によるキャッシュフロー	808	▲ 1,825	▲ 2,633
（換算差額）	30	▲ 17	▲ 47
【期末現金及び現金同等物残高】	3,011	2,658	▲ 353

2025年度 単体業績

(金額単位：百万円)

	69期 2023年度	70期 2024年度	71期 2025年度	前期比	前期比 増減率
売上高	18,236	21,818	22,270	+452	+2.0%
営業利益	570	679	1,386	+707	+104.1%
経常利益	630	731	1,394	+663	+90.6%
当期純利益	595	488	961	+473	+96.9%

2025年度 単体貸借対照表

(金額単位：百万円)

	70期 2024年度	71期 2025年度	増減		70期 2024年度	71期 2025年度	増減
【資産の部】	20,868	20,001	▲867	【負債の部】	15,036	13,264	▲1,772
流動資産	12,314	11,374	▲940	流動負債	10,307	8,626	▲1,681
有形固定資産	6,187	6,230	+43	固定負債	4,729	4,638	▲91
無形固定資産 (投資・その他)	2,366	2,396	+30	【純資産の部】	5,831	6,736	+905
資産合計	20,868	20,001	▲867	負債・純資産合計	20,868	20,001	+867

海外事業所の状況

東プラ・アバディジャヤ (インドネシア)



2025年度概況

- 国内冷蔵庫市場は堅調に推移
- 食品生活必需品の値上げが一般消費者所得を圧迫、その影響は住宅や4輪車といった贅沢品の需要が低下
- 前期比増収総益

2026年度見通し

- 主力の冷蔵庫向け製品は堅調
- 新製品の導入初期のロスが発生により一時的に原価率が悪化した但徐々に回復
- 年間利益は当初計画比で減となるものの利益確保

東プラ・ベトナム



- 米国による相互関税の影響が懸念されたが強い内需に支えられ順調に推移
- 原価率の改善、値上げ実行により設立以来過去最高益を達成
- 2026年3月に銀行からの借入完済

- 中東情勢の影響が不透明
- 新規顧客開拓による拡販施策実行
- 売上利益ともに微減

本日のAGENDA

監査報告 ▶ FY2025 Review ▶ 中期経営計画 (New Stage26) の進捗 ▶ FY2026 Budget ▶ 決議事項

Topics

進捗状況

経営目標

財務報告

予算

新たな取組み



中期経営計画 “New Stage26” 進 捗

中期経営計画 “New Stage26” 概要

重点施策

営業・サステナビリティ推進

- 環境型製品のラインアップの構築と海外展開
- WATフィルムを活用した新市場参入
- リサイクル事業の立ち上げ
- プロマックス製品の横展開

生産・SCM

- SSR対応倉庫建設
- COP対応装置の導入
- IoTやDXの活用による生産効率化

管 理

- DXサポート
- 外国人雇用

2026年度

(連結ベース)

売上高 **306**億円

経常利益 **20**億円

国内単体

売上高 244億円

経常利益 16億円

国内子会社

売上高 21億円

経常利益 1億円

海外子会社

売上高 53億円

経常利益 3億円

中期経営計画 “New Stage26” 数値目標と進捗状況

2026年度目標

売上高 **306**億円 【連結ベース】
経常利益 **20**億円

国内単体

売上高 244億円
経常利益 16億円

国内子会社

売上高 21億円
経常利益 1億円

海外子会社

売上高 53億円
経常利益 3億円

2025年度実績（進捗率）

286億円 (93.5%)

18億円 (90.0%)

227億円 (93.0%)
13.9億円 (86.8%)

21億円 (100.0%)
0.6億円 (60.0%)

49億円 (92.4%)
3.5億円 (116.6%)

本日のAGENDA

監査報告 ▶ FY2025 Review ▶ 中期経営計画 (New Stage26) の進捗 ▶ **FY2026 Budget** ▶ 決議事項

Topics

進捗状況

経営目標

財務報告

予算

新たな取組み

経営方針

① 人材への投資と育成

人材確保と育成のための環境整備の強化

② 営業力の強化

営業力向上のための施策の実施

③ 生産基盤の確立

安全安心な工場環境整備や安定した生産体制の強化

④ 調達戦略の最適化

輸入材料の見直しと原材料在庫の適正化

本日のAGENDA

監査報告 ▶ FY2025 Review ▶ 中期経営計画 (New Stage26) の進捗 ▶ FY2026 Budget ▶ **決議事項**

Topics

進捗状況

経営目標

財務報告

予算

新たな取組み

決 議 事 項

第1号議案

剰余金の処分の件

第2号議案

取締役5名 選任の件

第3号議案

役員賞与支給の件

第4号議案

退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件

第5号議案

定款一部変更の件
(商号変更)



アールピー
RP東プラ株式会社
RP TOPLA LIMITED

本日は誠にありがとうございました

アールピー東プラ株式会社 経営理念

1. 社会に役立つサービスこそ、企業の唯一の目的である。
2. 我々は、人・もの・時間という貴重な社会の資源を無駄なく使って社会の役立つ価値を造り出さなければならない。
3. 社会はどんどん変化していくので、我々は常に情報を重視して、自らを柔軟に変化させて対応する活力ある人間集団を志向しなければならない。
4. 企業の利益は、以上のような我々の努力を社会が評価した結果として生まれる。
5. 利益によって、企業の存続と発展が保証され、我々の生活の安定と向上が可能となる。